

# シリーズ世界遺産 ④

## 世界自然遺産について

はじめに

人類共通の遺産である「世界遺産」には、「世界文化遺産」と「世界自然遺産」があり、これまで「世界文化遺産」については登録基準など紹介してきましたが、「世界自然遺産」については、あまり触れていませんでした。今回は自然遺産について紹介をしておきたいと思います。

### 世界自然遺産の登録基準

世界自然遺産は、「鑑賞上・学術上・保存上顕著な普遍的価値を有している地形・生物・景観などを含むものや地域」を登録するものです。この指定にあたっては、世界文化遺産と同様に、登録されるために四つの基準があります。

①地球の歴史の各主要段階を表す優れたもの  
アメリカの「グランド・

キャニオン」は、大地の隆起と川の浸食や風化によって造られた大峡谷で、その地形と地層は地球の変化を示す二〇億年の歴史が刻まれている。

②生態系や動植物の進化発展に関する生態学的、生物学的過程を示す重要な例

赤道直下の太平洋上に浮かぶ火山群島「ガラパゴス諸島」は不毛な溶岩台地にもかかわらず、その環境に適応しながら進化を遂げた動植物の宝庫である。ダーウィンはこの島で『種の起源』の着想を得た。

③ひととき優れた自然美、及び美的要素をもつ自然現象・地域

アメリカの「イエローストーン国立公園」は白亜の石灰岩テラス、エメラルドグリーン湖、随所で噴き上げる間欠泉など、美しい景観は地下のマグマや微生物が生み

出す自然現象である。

④学術上、環境保護上価値を有する絶滅の恐れのある野生種のための自然生息域

アルゼンチンとブラジルの国境にあたる「イグアス国立公園」には世界三大瀑布であるイグアスの滝があり、周辺の熱帯雨林には、絶滅危惧種や動植物が生息している。

登録にあたっては、これらのうち一つ以上の基準を満たしている必要があるが、多くの自然遺産は複数、あるいはすべての基準を満たしているものが多い。

### 日本の世界自然遺産

我が国には十三の世界遺産がありますが、このうち世界自然遺産は、わずかに三カ所しかありません。

「白神山地」は青森県と秋田県にまたがる山地で、自生するブナの林は、東アジア最後の原生温帯林という点で価値が高い。また、自然林には五〇〇種の植物、八四種の鳥類が生息し、この中には絶滅危惧種のクマタカやイヌワ

シ、クマガラの繁殖も認められている。一方、白神山地は日本海の海底が隆起して山地が形成されるに至るまでの地層が残っている点でも重要です。②の基準を満たすことから、一九九三年に登録された。

「屋久島」は平地から山頂へと標高が上がるにつれて、植生が変わり、亜熱帯植物から亜寒帯植物まで垂直に分布している点が貴重です。また、スギは通常数百年とされているが、屋久島に生育するスギは樹齢千年を超えるものが二〇〇本以上もあり、根回り四三mもある縄文杉など生物学的に重要である。②③の基準を満たすことから一九九三年に登録された。

「知床」は地球上で最も低い緯度で海水が氷結する季節海水域にあたる。この海水が、海・川・陸の生物全体に独特の食物連鎖を起こさせるといふ稀な例である。また、北方系から南方系まで多様な生物相が見られ、シマフクロウやオジロワシなどの稀少動物も生息している。②④の基準を満たしており、二〇〇五年に登録された。



知床



屋久島



白神山地